

「飯田市（野底川以西）における水資源に係る具体的な調査の計画について」に対する関係委員からの意見

No.	委員名	意見等要旨
1	片谷委員長 梅崎委員 鈴木委員 山室委員	地形断面図等について ・トンネルの位置と地形変化のおおよその関係が分かるように、地形の断面図を示すこと。また、帯水層とトンネルの位置関係についても明らかにすること。 ・調査地域全体の地形の勾配の変化が分かるような写真等を示すこと。
2	山室委員 富樫委員	地形地質構造について ・当該地域の地形区分（山腹斜面と扇状地の境界など）、地層分布について、明らかにすること。
3	梅崎委員 鈴木委員 富樫委員	地下水のモニタリングについて ・斜坑付近において、浅い帯水層の地下水位のモニタリング調査の実施を検討すること。 ・ボーリングを実施した地点の一日ごとの孔内水位の変動について、示すこと。 ・土被りが浅くなる円悟沢川周辺の計画路線において、地下水モニタリングを検討すること。 ・断層の前後における地下水のモニタリング地点を設けることを検討すること。 ・引き続き、地下水位の連続観測を検討すること。連続観測の実施が困難であれば、調査の頻度を増やすこと。
4	梅崎委員 鈴木委員 富樫委員	帯水層の把握について ・浅い帯水層の流向を明らかにすること。 ・帯水層毎の集水域の実態の把握及び図表の作成を検討すること。
5	富樫委員	扇状地下流域の地下水の調査について ・トンネルから500m程度までの下流域における地下水への影響を把握するために、下流側のより遠方にも地下水調査の代表地点の設定を検討すること。
6	富樫委員	観測地点の位置図について ・観測地点のみをプロットした縮尺の大きい図面を作成すること。
7	山室委員	河川流量について ・松川に流れ込む闇沢川、大垂沢川及び南沢川が影響範囲の中に含まれていることから、水量が減少した際の水生生物等への影響が懸念される。河川の上流部における湧水量等のモニタリングを検討すること。 ・松川の流入河川について、松川の水量への寄与がどの程度になるのか示すこと。